



社屋外観

不良在庫を最小限にした 印刷受注システム開発

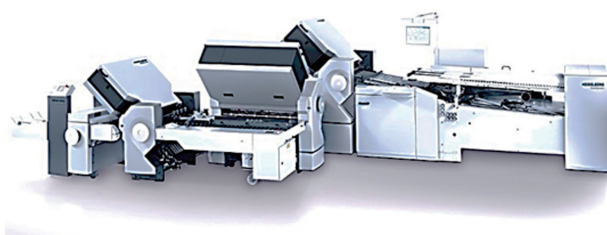


実施した事業の概要と成果

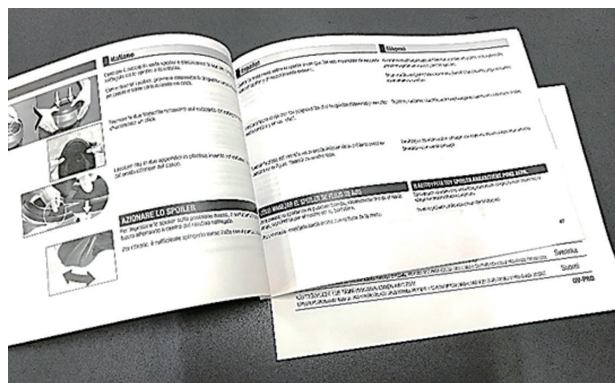
顧客へ納品する印刷物の不良在庫を最小限にして、コスト削減を実現させるシステムの開発を行った。

顧客との印刷物の契約において、1回の発注数が多いほど単価は安くなるため、将来の使用分も見越してまとまった数量を1度に発注することが多い。しかし、商品カタログなどの場合、商品の品名や価格、仕様変更などにより不良在庫となり廃棄処分となる。

システムの開発に際し、製造工程上の折り工程がボトルネックとなる。折り工程にコンピュータ制御で作業者を選ばない新設備を導入することで、年間契約によるコスト削減と毎月納品による不良在庫削減が可能となるシステムが構築できた。



導入設備：コンピュータ制御の折り機



印刷物例



製品開発や課題解決の具体的取組み

顧客が毎月使用する分だけ製造、納品する本システムを実現するためには、多品種小ロット生産に対応できるように生産効率を向上させる必要があった。

製造工程上ボトルネックとなっていた工程があった。この工程はベテラン作業員でなければ対応できず、工程の進捗はそのベテラン作業員の作業スケジュールに依存するという状況であった。

ボトルネック工程に新機械設備としてコンピュータ制御できる折り機を導入した。この機械は作業員を選ばず誰でも操作することが可能であり、また小ロットの仕事への対応が格段に向上した。コンピュータ化されたことで、前回までの仕事内容が記録されており、呼び出すことで準備時間の短縮も実現した。

本システムの開発により、ベテラン作業員への負担軽減や外注費用の抑制による利益向上も期待できる。



会社オフィス

事業者	福山印刷株式会社
代表者	代表取締役 福山 寛之
設立年月	昭和47年9月
所在地等	〒775-0004 徳島県海部郡牟岐町 大字川長字市宇谷174-1 TEL：0884-72-1679 FAX：0884-72-2879 http://www.fuku-print.jp/
事業区分	革新的サービス
資本金額	300万円
従業員数	9人
業種	印刷業

福山印刷株式会社 の

代表取締役

福山 寛之



本事業取組みへのきっかけと目的

印刷業界における紙の廃棄物は年間70万トンにも及ぶ。顧客へ納品済みのものも含めると廃棄量はその数倍にもなる。顧客への納品物における不良在庫を最小限にすることでコスト削減、地球環境負荷低減を実現するシステムの開発に取り組んだ。

今後の展望と活動予定

既に年間契約、毎月納品システムで受注している企業その他、試験的に一部のカタログで実施している企業があるが、生産体制が整えば正式受注に繋がる予定である。生産体制を整え、より多くの品目受注を目指す。